

### 2.3 平成2年災害の概要

平成2年6月29日から7月2日にかけて、九州地方中・北部は台風6号から変わった低気圧の接近により梅雨前線が活発化し、集中豪雨に見舞われた。とくに降雨の激しかった阿蘇地方では、一の宮町坂梨地区を流れる古恵川などにおいて、多量の土砂と流木により壊滅的な被害を発生させた。

表 2.3-1 平成2年一の宮災害時の被害概況

分類	熊本県被害	一の宮町被害
死者	16名	11名
負傷者	28名	12名
全壊家屋	106棟	83棟
半壊家屋	111棟	61棟
床上浸水家屋	3054棟	354棟
床下浸水家屋	4599棟	650棟

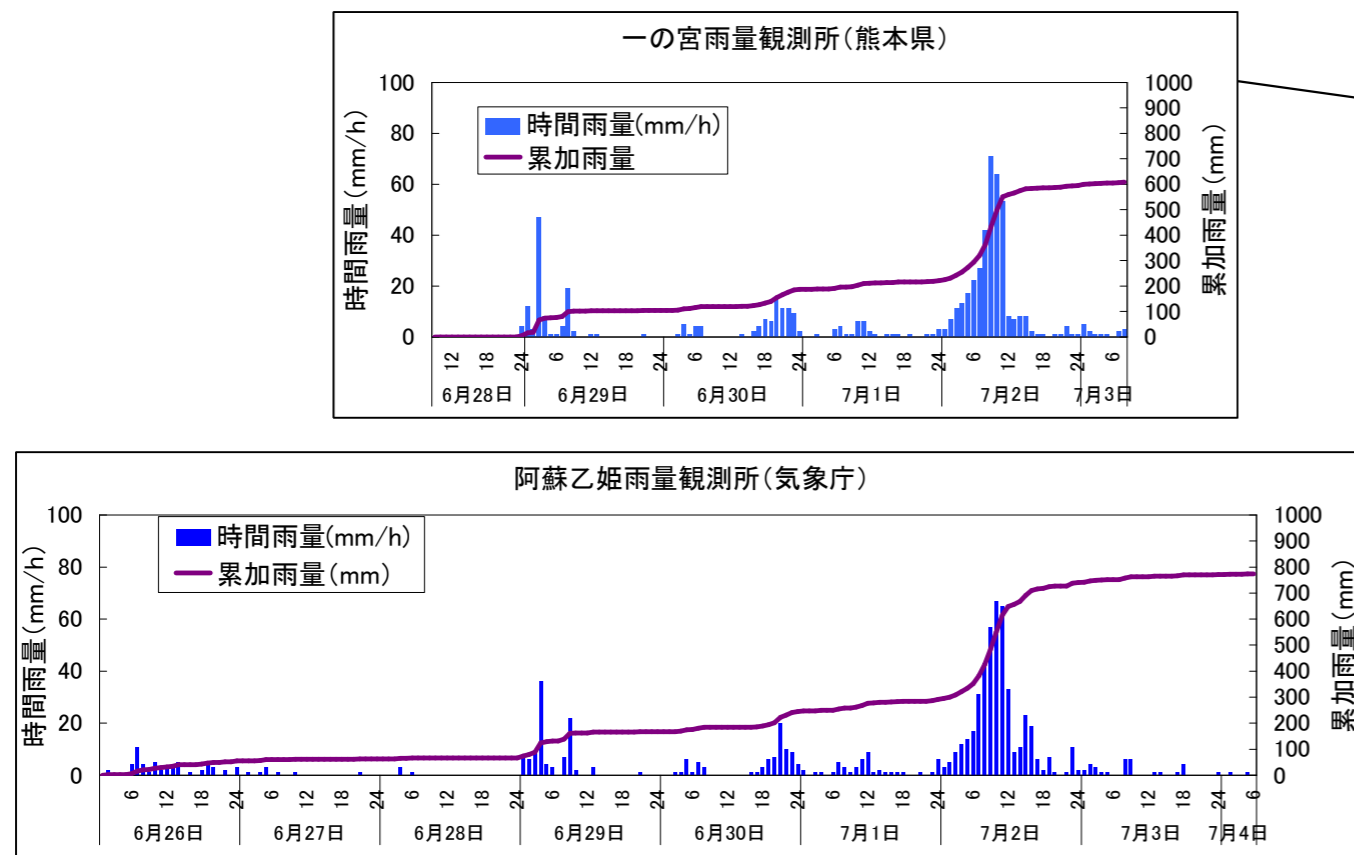


図 2.3-1 平成2年一の宮災害時の降雨推移  
(上段：熊本県一の宮観測所、下段：気象庁阿蘇乙姫観測所)

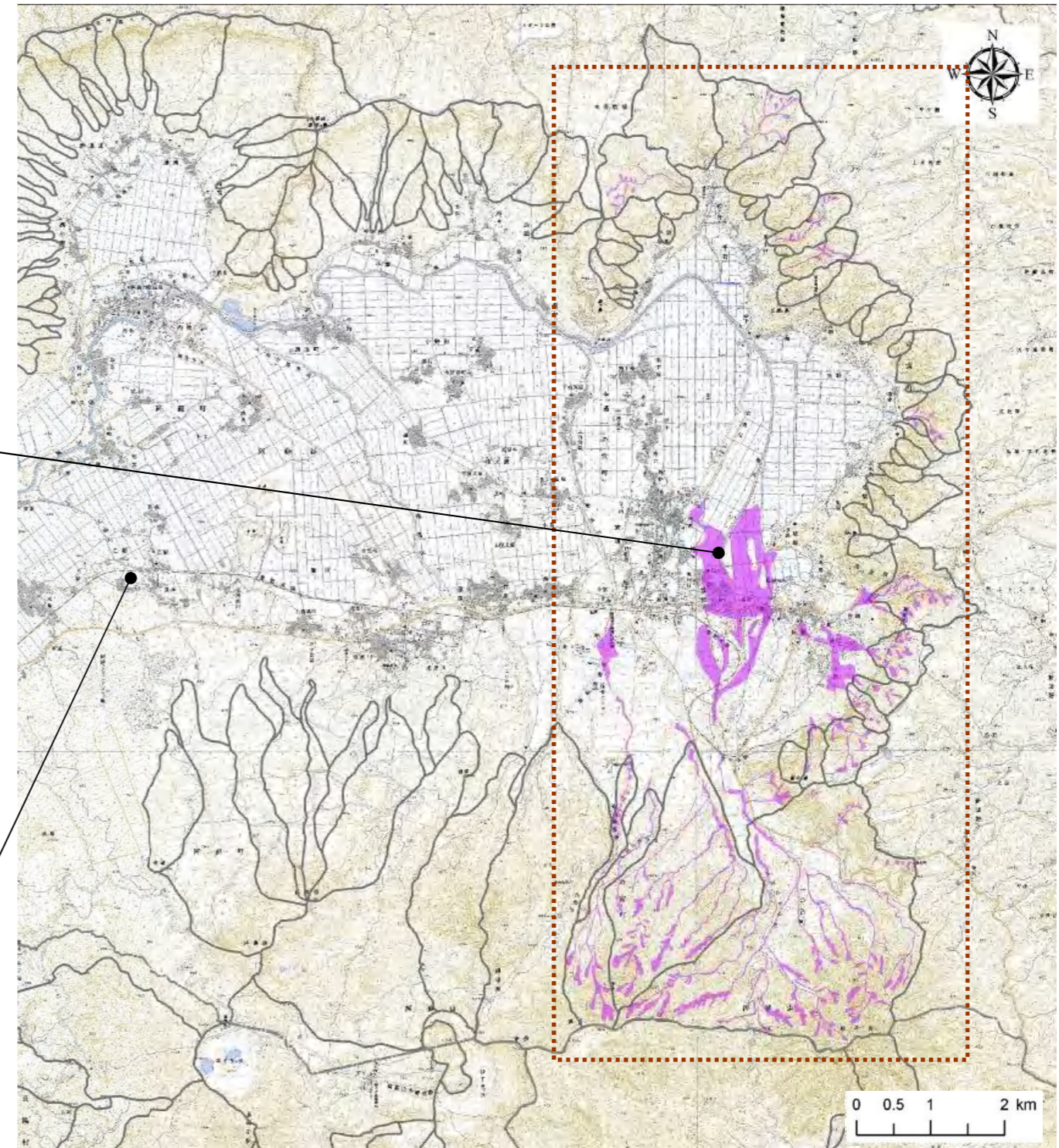


図 2.3-2 平成2年一の宮災害時の土砂移動実績図



写真 2.3-1 <sup>さかなし</sup> 坂梨地区崩壊状況



写真 2.3-3 坂梨地区 <sup>まめふた</sup> 豆札川荒廃状況



写真 2.3-2 一の宮市街地の氾濫状況(古恵川)  
<sup>ふるえ</sup>



写真 2.3-4 <sup>まめふた</sup> 豆札川砂防堰堤 完成直後